

水田で高収益な複合経営を実現

石川農林総合事務所

白山市の大規模農業法人である有限会社安井ファーム(代表取締役 安井善成)は、平成13年に法人化した後、平成15年から水稲と大豆にブロッコリーを加えた園芸作物の導入による経営の複合化を開始しました。

水稲や大麦刈り取り後の水田を期間限定で借り、秋にブロッコリーを栽培することで飛躍的に生産を拡大しました。現在では、北陸地域でトップレベルの経営面積を実現しています。

加えて、若い従業員を積極的に雇用しており、従業員には仕事の目標や課題を自ら決めさせて、達成に向けて取り組んでもらうことでやりがいにつなげています。

その主体性を重視した人材育成の実践により長期継続雇用を実現するなど、雇用型法人のモデルともなっており、令和元年度(第58回)の農林水産祭において、内閣総理大臣賞(園芸部門)を受賞しました。

石川農林総合事務所では、法人化の支援や水田を活用した園芸複合化に向けて、品目の選定や技術指導を行っているほか、雇用者の育成および経営者としての資質向上に向けた支援を関係機関と連携して取り組んでいます。

また、経営規模拡大に向けた機械装備および選果場等施設整備の際の支援を行っています。

今後は、この安井ファームを地域のモデルとし、園芸複合化の支援を図っていきたいと考えています。



農林水産祭式典での表彰式



受賞された安井代表

問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）